

私たちは、ヨーロッパの伝統的なビール文化を尊重し、手づくりの本格ビールを通して、ビールにも選ぶ楽しみを提案します。食卓がもっと豊かに、ハッピーなものになるよう、地元岩手よりビール文化を発信していきます。

ヘアレン醸造所スタッフ一同

ペアレンとカケルプロジェクト



4月26日、岩手日報にカラー全面広告を掲出させていただきました。ご覧になつていただけたでしようか。この日は、ちょうど20年前の2003年4月26日、ベアレンの初仕込みビールを飲む会が開催された日で、まさに初めてお客様さまにベアレンビールを飲んでいただいた日、となります。この20周年の節目に、当社では「ベアレンとカケルプロジェクト」という20周年の企画を発表しました。



[プロジェクトの
詳細はこちら↓](#)

となく、今年度の終わ
りにはファイナーレイ
ベントができたらと
考えています。ぜひ皆
さまのご参加をお待
ちしています。



BAEREN

えるようになったかな、と思つて
います(笑)。釣り人海老名



釣り人海老名

今月の新製品

藤村 美花 | 営業部流通課

皆さま、岩手
の「当地グルメ」
「そば」ならぬ「
ソーパー」と呼ばれ
があるのを知っ
てしまうか? 5
定ビール「コロ
のぞ」が紹介です!
わんこビール



編集後記

4月は「コラボビールが盛りだくさんでした! 三鉄さんとの「コラボ」「鉄ブレミニアムラガー」やZOOMOコーヒー、「アルオープ」記念ビール「姫とりオの乾杯ビール」、そして「Steeplejack brewing」などの「コラボ」「ロストインハーバルラガー」。どれも今しか飲めない商品ですので、ぜひお召し上がりください!」

これは、ペアレンと掛け合わせることによって、今までできなかつたことができたり、新しい取り組みが生まれたり、新たな出会いが生まれたり、そんなことができるたらと願つて企画したもので。そうしてできたことが岩手をもつと元気にしたり、岩手や盛岡に興味を持つてくれる人が増えたりと、様々な交流が生まれたりと、地域が活性化することにつながなければと願っています。そして、その中にベアレンがあつて岩手の誇れるブランドになれたら、そんな思いを込めて企画しました。

この企画は、社内の有志によるプロジェクトチームによって昨年スタートしました。様々な議論を

経てこのカケルプロジェクトとなつたわけですが、カケルとカタ力ナにしたのには意味があり、様々なカケルを実現したいと思っていました。例えば、「駆ける」。ペアレンランニングクラブなど、ベアレンは走っているイメージがある方もいるかと思いますが、岩手県内の全市町村を回って一文字ずつを描くGPSランにも挑戦します。岩手県内33市町村でどんな文章が出来上がるのかお楽しみに。

これは、ペアレンと掛け合わせることによって、今までできなかつたことができたり、新しい取り組みが生まれたり、新たな出会いが生まれたり、そんなことができたらと願つて企画したもので。そうしてできたことが岩手をもつと元気にしたり、岩手や盛岡に興味を持つてくれる人が増えたりと、様々な交流が生まれたりと、地域が活性化することにつながればと願っています。そして、その中にペアレンがあつて岩手の誇れるブランドになれたら、そんな思いを込めて企画しました。

この企画は、社内の有志によるプロジェクトチームによって昨年、スタートしました。(様々な議論を

経てこのカケルプロジェクトとなつたわけですが、カケルとカタ力ナにしたのには意味があり、様々なカケルを実現したいと思っていました。例えば、「駆ける」。ペアレンランニングクラブなど、ベアレンは走っているイメージがある方もいるかと思いますが、岩手県内の全市町村を回って一文字ずつを描くGPSランにも挑戦します。岩手県内33市町村でどんな文章が出来上がるのかお楽しみに。

セイツエーエリレーハ名老海 | 课流通部営業部 | 文勝名老海 | 课流通部営業部 | 菜園の大黒柱、今野さんはよりバトンを受け取りました、営業部流通課の海老名です。今年の冬は雪も少なく、桜も例年通り1ヶ月ほど早く咲きましたね。暖かい陽気になると私の気持ちちは山へ向かいます。私の趣味の一つに釣りがあります。主に北東北をフィールドに渓流釣り、

自然と釣りそのものを楽しめる。それこそが渓流釣りの魅力だと思います。とは言え、しっかりと結果も残したいのが人の性。昨年は自己最高記録47cmの岩魚をキヤツチしまして、ようやく奥深い「釣り人」の末席に加えてもらえるようになったかな、と思っています(笑)。

釣り人海老名

今月の新製品 営業部流通課
藤村 美花 | が当地的を知っています
「わんこビール」 でしようか？ 5月の限
定ビール「ワロニーア」
の紹介です！

「わんこビール」とも呼ばれるワロニーアは、ドイツ・ケルンが発祥のケルシュスタイルのビールです。すいすいと飲めちゃう飲み口の良さが特徴、そのため現地では小さなグラスで何杯も飲むのが慣習だそうです。（まさに、「わんこそば」スタイル！）ワロニーア、実はベアレンが初めて造った記念のビールでもあり、周年ビールとして毎年ラベルを変えて発売をしています。気になる今年のラベルは…ベアレン創業20周年を記念して、20年前の復刻デザイン。懐かしさ満載のラベルにも注目ください！



今年も三陸鉄道さんとコラボレーションしました!
その名も「ペアレン 三陸プレミアムラガー」
GWは三鉄に揺られながら、三陸の美食と絶景とともに
三陸プレミアムラガーを堪能してみませんか?



レストラン便り

小山 莊城 | 菜園マイクロブルワリー

ごんはせは 東園のハマツ
ロブルワリーの小山です。
4月1日・2日に行われた、
きたぎんボールパークのオ
ープニングイベントに出店
してきました。

当曰、早朝は肌寒さもあ
りましたが、日中はこの時
期とは思えないような陽気
となり、中には半袖で過ご
している方もいらっしゃいま
した。初日のオープニング式典の
後には高校生の練習試合が行われ、
合間にはさんざ踊りや盛岡秋祭りの
山車が来ていたり、野球場をモチー
フにした遊具で遊ぶ子供たちなど多く
の皆さんで賑わいました。私たちも
の出店したブースにも多くのお客様
に来ていただき、ビールを飲みながら
の陽気と青空の下で飲むビールは
最高だったと思います。

絶好のビール日和！

天候に恵まれた中、2日目の練習試合の後は球場のフィールドを開放して、普段ならあまり入る事が無いマウンドなどにたくさんの方がいて、とても良い雰囲気でした。

今後もたくさんのイベントでの出店があると思いますので、よりたくさんの方々に満足していただけるように準備して臨みたいと思います。

笑熊會活動報告

中村 大和 | 営業部業務課

今年度の努力次第で好重んじ
4月になりました、新しい体制でスタートし
た笑熊会。会長の中村、
副会長のビアベース、ベ
アレン盛岡駅前総括調
理長の町屋とその他大
勢…で楽しい社内イベ
ントを企画していくた
いと思います！

たが、スタッフの一人が冬季に働いている酒蔵さんから頂いた日本酒の燗と酒粕でつくった甘酒で体を温めながら桜を楽しむ風流な会となりました。

今後も楽しい活動を発信していければと思います。次の笑顔会の活動報告をお楽しみに！



Hood to Fujiに参加してきました！

内館 康喜 | 営業部流通課

4月中旬、渋谷ストリームにて開催された「Hood to Fuji 2023」に参加してきました。このイベントは2018年に米国オレゴン州ポートランドでスタートし、翌年に日本で開催、コロナ禍による中断を経て4年ぶりに日本での開催となつたものです。米田名20社、計40のブルワリーがコラボレーションしてビールを造りお披露目する催しで、オレゴン産原料を使用して日本でビールを仕込むところのがこのイベントのルール。初参加となる当社は2021年創業のSteeplejack brewingさんと「アボレーグアレーブ」を使用したハーバルラガーを製造しました。



先方とのやり取りは基本的にすべてメール。オレゴン産原料のリストを提案いただき、原料選定とレンジ設計、仕込みスケジュール調整、発酵管理や官能評価と、さまざまなお微調整を行ながら完成までこぎつけました。一時は原料のオレゴン産ハーブが通関で止まってしまい荷物が行方不明に！現地でも「ユースになるほどの大雪の中、なんとか再手配してもらつてギリギリで間に合いました。商品名は「ロストイントランジットハーバルラガー」。完成したビールを手に、オレゴンから駆け付けてくれたコラボ相手の皆さんと乾杯。「しっかりとハーブが感じられるけど、ベースの良さも残っていて美味しい！」「ベアレンがペアでなかつたら完成に至らなかつた」とお褒めの言葉もいただきました。

ベアレンらしくモルティな麦芽の旨みを残しながら、ハーブ由来のミントや草原のような清涼感溢れる仕上がりで、一緒に苦笑してつくり上げた一杯は美味しさもひとしおです。

A large group photo of approximately 100 people gathered in a modern, well-lit interior space, likely a lobby or entrance area. They are all smiling and posing for the camera. In the center of the group, there is a blue Columbia brand umbrella. The background shows architectural details like glass walls and ceiling lights.



わたしとベアレン
投稿者 | 萩野 麻衣
私が地元岩手を離れてからでした。友達がベアレンに勤めていて、お店で遊びに行つたのがきっかけです。その後は、岩手に帰省する度にベアレンに勤めていたとき、週末もさせていただき、週末の楽しみにしていると、ころです。そして、可能な限りはスプリングフェストやオクトーバーフェストにも参加し、ワイワイ楽しく美味しいビールをいたたいています。コロナ禍でなかなか岩手に帰れなくなり、寂しく思つていたのですが、最近では、私の住んでいる関東でもたまにベアレンビールを見かけるようになります。本当に嬉しくなり、迷わず手に取ります。

ベア伦ビール大好きです!! これからも、美味しいビールを期待しております!

※引き続き、みなさんの投稿をお待ちしております！